

中絶ケア・シミュレーション教育

看護学科

斎藤 未希 助教

【研究分野】 ウィメンズヘルス、母性看護学、助産学
 【キーワード】 人工妊娠中絶、リプロダクティブヘルス&ライツ
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=292sai>



研究概要

- 日本では「人工妊娠中絶＝よくないこと」という認識が強いですが、中絶は女性のリプロダクティブヘルス&ライツ（RHR）を達成するための重要な選択肢です。
 これまで、中絶の中でも妊娠12週以降の中期中絶に焦点を当て、ケア提供者である助産師を対象とした研究を行ってきました。中絶ケアの質向上と、ケア提供者である看護職者の心理的負担軽減を目指しています。
- 近年の分娩件数の減少、COVID-19の流行による臨地実習の制限を踏まえ、ICTを活用したシミュレーション教育を行っています。

研究紹介

「中期中絶を受ける女性へのケアで助産師に生じる葛藤と折り合い」

助産師がケアで抱く葛藤に折り合いをつける現象とプロセスを明らかにしました。

「中期中絶ケアにおける助産師の感情尺度の開発と信頼性・妥当性の検討」

助産師がケアで抱く感情（陰性感情および陽性感情）を測定可能な尺度を開発し、信頼性と妥当性を検討しました。

講座テーマ紹介

- 中絶ケアに関する講座
- 中絶を受ける女性に関する講座

アピールポイントなど

- 助産師を対象とした「助産師の中絶への向き合い方」講座の経験があります。
- 2021年より日本助産学会のリプロダクティブヘルス・ライツ/アボーションケア（SRHR & Abortion care）プロジェクトに参加し、アボーションケアのためのベストプラクティスガイドラインの作成を行っています。
- <https://researchmap.jp/saito-miki> もご覧ください。